

貨物列車運転士の眠気の発生要因

澤貢 山内香奈 鈴木綾子 村越暁子 鈴木大輔

貨物列車の運転士は、夜間の走行が多い等の種々の要因のため、運転中に眠気を生じやすく、特段の配慮が必要であると考えられる。本報告では、貨物列車運転士の眠気の発生要因を体系的に整理、検討を行うために、全国の貨物列車運転士1810名を対象としたアンケート調査と8名の運転士を対象とした現地調査を実施した。

38の質問項目の回答を因子分析にかけた結果をもとに、眠気の発生要因として、「勤務条件」、「体調」、「経過時間・時刻」、「運転条件」の4つの要因の重要性を指摘した(図)。また、眠気が生じやすい作業または列車の原因として、「勤務条件」に係わる“休養時間が短い”と「経過時間・時刻」に係わる“深夜早朝帯”の2項目で全体の62%を占めていたこと、現地調査において往路の夕方帯のフリッカー値(大脳の覚醒水準)が「運転条件」に係わる低速運転によって、復路の深夜帯の運転と同じ程度低くなっていること等の実態が明らかになった。

(鉄道総研報告, 2012年1月号)

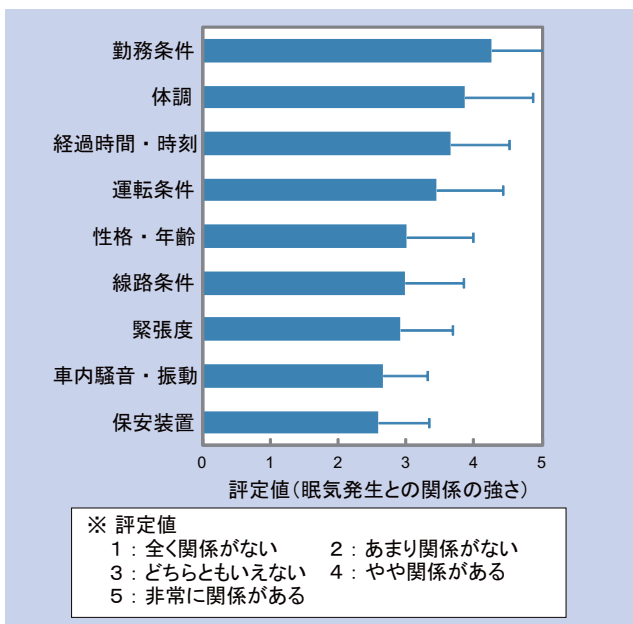


図 各因子に含まれる質問項目の回答平均値の平均値と標準偏差